

## 令和3年度 事業計画書

(令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日)

新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼすなか、令和2年度の自立奨学支援事業への応募数は697名となり、支援事業の重要性が再認識された。よって、令和3年度においても、自立奨学支援事業、団体向け支援事業を中核とし、前年と同程度の規模で実施していく。

なお、正味財産の減少が続いていることから、今後の事業運営について検討していく必要がある。

### 1. 自立奨学支援事業（事業費占率71%）

支援を求める応募者数も、過去3年平均で642人と多くの子ども達が本財団の支援制度に期待している実態より、過去の実績並みの予算を確保する。また、社会人となった子ども達の生活マニュアルである「未来のつばさナビ」は継続して贈呈できるべく予算化した。また、広報活動の一環として実施しているメールマガジン「つばさニュース」を活用し、自立準備から自立後の児童を繋ぐコンテンツの充実を図り支援金以外でもサポートをしていく。

### 2. 団体向け支援事業（事業費占率8%）

事業目的の「子どもの権利擁護と自立支援に最善の利益を与える活動」に支援を行う。支援金額単位は30万円、支援件数は12件を保ち引き続き地域の少額な活動を対象とする特徴を出す。また、プロジェクトの応募状況や支援結果をまとめ広報誌およびメールマガジンにて紹介する。

### 3. 広報活動事業（事業費占率2%）

広報誌「未来のつばさ」を年1回発行する。発行先は児童養護施設等、地方関係自治体、児童相談所、社会福祉協議会および寄付者あて3700部を予算計上する。メールマガジン（つばさニュース）は月に1回のペースで配信を継続し、会員をチラシ配布等により増やし財団事業をアピールする。

### 4. 組織運営

#### (1) 常設委員会開催予定

開催月	委員会名称	実施事項
5月	会計監査会 理事会	令和2年度決算関係資料監査 令和2年度事業報告・決算（案）審議
6月	評議員会	令和2年度事業報告・決算承認

	理事会	令和3年度選出役員の選任 理事長の選定決議 令和3年度選考委員および諮問委員の選出決議 プロジェクト支援事業前期最終選考決議
10月	選考委員会	2021年度自立奨学支援制度の選考方法の審議
12月	理事会	プロジェクト支援事業後期最終選考決議
1月	審査会	2021年度自立奨学支援応募の審査
2月	選考委員会 諮問委員会	2021年度自立奨学支援の最終選考 令和4年度実施事業の諮問と意見聴取
3月	理事会	令和4年度事業計画及び収支予算書の承認

(2) ボランティア体制の推進

昨年度は緊急事態宣言により、自立奨学事業の審査委員としてBチームは招集せず、Cチームは楽天生命職員4名のボランティアに選考を行っていただいた。本年は例年通りに選考ボランティアを多く求め社会的養護環境下の子供たちの実態を知ってもらいたい、また財団の行う事業を支援するボランティアを求める。